

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

<http://syozen.com>

第30号

発行 平成20年5月22日



見えないものを見つめる心

先住である瑞峰和尚七回忌を終え、少し安堵しています。このよ
うな法事では、いえ法事に限らず、
私たちは亡くなった方へお茶やお
菓子をお供え、霊供膳（りょうぐぜ

ん）といって食事を供えます。時
には好物だったからと、亡き人の
好きな食べ物をお供えされること
もあります。亡くなった方がお茶
を飲めるわけでもなく、食事が
できるわけでもないの

に、このようにお供え
します。聞こえるはず
もないのに、本堂に掲
げている先住の写真に
向かっていつも話しか
ける檀家さんがありま
す。

なぜ、このようなこ
とをするのでしょうか。目に見える人に物
を上げたり、返事をし
てくれるから語りかけ
ることは誰でもできる
ことですが、見えない
ものに手を合わせ、見
えない人に食べられる
はずもないお供えを
し、見えない人に語り
かけることは、私たち

が本来
持ち合
わせて
いる尊
い心が
あるか
らこそ
の行為
だと思
います。



今あ
る命を喜び感謝する、その尊い心
があるからこそ、私たちは目に見
えないものに手を合わせるので
す。亡き人をしのび、その徳をた
たえる、それは私たちが今、目に
見えるものにしなければならぬ
ことを教えられていることでもあ
ります。

「祭如在」：祭ることが在（い）
ますが如（ごと）くという、論語
にある言葉だそうです。供養の心
得として、今も言われ続けている
ことですが、亡くなった方がまだ
そこにおられるようにお供えし、
大切にしなさいという教えです。
見えないものに対する尊敬の念
を大切にしましょう。

多くの皆様のご支援により

瑞峰和尚七回忌を厳修

薫風涼を送る5月空の下、17日に先住瑞峰和尚の超祥忌(七回忌)を松禪寺において厳修いたしました。導師には瑞泉寺閑栖和尚様(朝来市和天山町)を拜請し、山陰東教区はじめ法類及び縁故各御寺院、親戚御寺院など24名が出席して楞厳行道が修行されました。

また、当山総代はじめとする役員、評議員各位、桂昌寺総代各位、親戚も参列して焼香していただきました。

齋会(さいえ)とは、住職などの年忌法要のことで、前日午後の宿忌(しゅくき)、当日早朝の献粥(けんしゆく)、当日午前中の半齋(はんさい)からなっています。

5月16日午後5時半より法類寺院の和尚さん方により宿忌を執行、翌17日の早朝に献粥の勤めを楊岐院様(豊岡市)と住職で勤めました。

半齋は17日午前10時半より執

行。聖寶寺様(三重県)が打たれる法鼓(ほつく/太鼓)を合図に、知客(しか)の瑞泉寺様(朝来市和天山町)と東源寺様(福知山市夜久野町)が先導されるなか和尚さん方が齋会会場である本堂へと入堂され、最後に導師である瑞泉



寺閑栖和尚様(朝来市和天山町)が入堂されました。

まず最初に、導師様がお供えを献ずる式が最初にあります。導師が焼香して献香三拜、お湯とご飯を献じて三拜、菓子とお茶と布施

を献じて三拜、これを導師から侍真(じしん/祖師の給仕役)である慈照寺様(朝来市山東町)へ渡され供えられます。このとき、亡くなった和尚の弟子である住職も導師と一緒に三拜します。

▲厳かに供物が真前に次々と献じられました

これを終えると、導師が先住和尚の遺徳をしのぶ法語を唱えられ、そして、維那司(いのうす/お経を始め、回向を読む役)である楊岐院様がお経をはじめ、導師を先頭に和尚様方

がお経を唱えながら本堂内をめぐる歩き、仏に敬意を表す行道(行道)が行われました。最後には、和尚様方全員が敬意の三拜をなされます。続いて、本堂上関において墓前のお経をあげ、半齋のお勤めは終わります。

最後に全員で記念撮影を行い、お昼の食事を召し上がっていただきました。さらに、副司(ふうす/経理面を司る役)である清太院様(福知山市夜久野町)と光福寺様(朝来市和天山町)が、和尚様方のお布施とお礼を一人ずつ丁寧に手渡して回られました。

今回は、次々に来山される和尚さん方にお茶を出していただいたり、お昼の食事の準備、お酒を運んだりついたり、そして後片付けと一日活躍していただいた接待役の応援も、この齋会を行うにあたって大きな支えとなりました。ありがとうございました。

法事、それは亡き人に代わって、亡き人と縁のある皆さんに感謝申し上げる行事であり、一つの修行をさせていただく場面でもありません。失敗も多々あったかと思いますが、精一杯勤めることが何よりの供養だと、私は思います。

駐車場拡張工事始まる

墓地造成工事も併せて着工

駐車場拡張工事が5月21日より始まりました。近隣の皆様には何かと迷惑をおかけすることと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、隠察の屋根改修工事は、お陰様をもちまして3月16日に完了いたしました。

なお、駐車場拡張工事につきましては、檀信徒皆様(賛助会員を除く)に臨時費のお願いを5月にお願いさせていただくことになっていきます。何かと厳しい社会情勢のなかで無理を申し上げますが、護持発展に向けて何卒格別のご理解とご協力をお願いいたします。

駐車場拡張工事に伴う臨時費のお願い

拝啓

薫風の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

貴方様には平素から松禪寺発展にご尽力戴きまして厚く御礼申し上げます。

さて、既報のとおり地域の皆様方のご支援により、平成十八年から始まった市道松禪寺線改良工事も昨年に完了し、お陰様で栗尾本城隣保の奥から当寺駐車場へと道路がつながりました。特に冬期間は安心して通行できると、参拝者皆さんからも大好評を得ておりま

す。

これにより、これまでの寺駐車場の一部が市道となったため、山側に向けて駐車場の拡張を行い、参拝者皆さんの便宜を図ろうと計画した次第でございます。すでに、本年度の評議員総会においてもご提案申し上げ、ご承認いただいたところでございます。

つきましては何かと出費ご多端の当今ではございますが、この事業の志願円成のため格別なる思し召しをもってご芳志を賜りたく、左記のとおり何卒ご協力懇願申し

上げる次第でございます。よろしくお願い申し上げます。

記

合掌

平均割 一軒あたり五千円
戸等割 一戸あたり四千円

以上

平成二十年五月吉日

松禪寺住職 高橋乾峰
松禪寺総代 西垣 勉
松禪寺檀信徒各位

春彼岸会と 本山定期巡教 を執行



今年は、春の彼岸法要を3月22日(土)に午前11時から執り行いました。参拝者全員で彼岸法要をつとめ、お昼には当番さん手作りのお弁当をいただきました。

続いて午後1時半から、本山春季定期巡教を開教いたしました。今年、岐阜県瑞浪市の興徳寺副住職である稲葉瑞峯師に、「請う、其の本を務めようどう活かす わたしのいのちく柏樹子の話に賊機あり」(はくじゅしのわにぞつきあり)をテーマに説いていただきました。

兼務している桂昌寺の檀信徒の皆さんも多く来山していただき、約45人が布教師さんの法話に熱心に耳を傾けました。この日は、とても日射しの暖かい良い天気です。春のうらかな一日を読経と法話で過ごしていただくことができました。

ミャンマー・サイクロン 中国・四川省大地震 義援金募金のお願

本年5月に発生し、ミャンマーを直撃したサイクロンによる風水害は甚大なものでありましたが、その後に発生した中国・四川省汝川県を震源とする大地震の被害は更に深刻なものであり、各々日を追うごとに驚愕度を増し続けております。また、現在連絡が途絶している地域も多くあり、被害は計り知れないと報じられています。弦に謹んで被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます、お亡くなりになられた方々には心より哀悼の意を表します。

妙心寺派花園会本部では、事の重大さを鑑み全国花園会(妙心寺派檀信徒組織)を通じての取り組みとして、救済金・義援金の募金活動を開始されますので、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。いたします。つきましては、法務ご多端の折から誠に恐縮とは存じますが、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。なお、今回の救済金・義援金の取り扱いに

については、花園会本部一括にて関係機関を通じ援助させていただきたいと考えておりますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます



開山無相大師 六五〇年遠諱 特別報恩写經 のすすめ

開山無相大師六五〇年遠諱法要に協賛するため、特別報恩写經運動を推進しています。平成21年12月末日まで継続推進されますので、花園会員の皆様には一巻以上の納経をお願いいたします。写經用紙は松禪寺にあります。なお、一巻につき一千円の納経料を納めていただきます。

山陰東教区では、平成21年4月に開山無相大師650年遠諱集中団参を実施します。総勢700人が3日間4班に分かれてお参りいたします。松禪寺は桂昌寺と共に、4月1日(水)に参加することになっていますが、松禪寺の参加要請人員は18人です。総代を中心に参加いたしますが、それ以外で特に参加希望される方は住職までお申し込みください。